

病院の 実力

～山形編 37

病氣別に医療機関ごとの治療実績を伝える「病院の実力」。今回は、腰や手・脚などの痛みやしびれに対する治療を特集する。

中枢神経の脊髄や枝分かれした神経根が、椎間板や、背骨をつなぐじん帯などに押されると、腰や脚、腕に、しびれや痛みが出る。痛み止めの薬の服用、動きを制限する器具の使用などの「保存療法」が基本だが、我慢できない強い痛みが長く続いたり、歩行や排尿に支障をきたしたりする場合は、原因の圧迫を取り除く手術が必要になる。

東北中央病院(山形市和合町)の田中靖久病院長(56)は、「高齢化に伴い、年齢を重ねると発症しやすくなる『腰部

腰・首の手術

病院の実力「腰・首の手術」

医療機関別2009年治療実績(読売新聞調べ)

医療機関名	手術合計 (件)	腰椎椎間板ヘルニア(うち低侵襲) (件)	腰部脊管狭窄症(うち低侵襲) (件)	頸髄症 (件)
東北中央	381	64(0)	257	60
山形済生	152	52(25)	67(0)	33
公立豊賜総合	99	38(21)	32(0)	29
みゆき会	89	31(0)	34(0)	24
山形市立済生館	61	19(19)	30(0)	12
寒河江市立	35	6	27	2
山形大	31	2(2)	16(0)	13
舟山	16	12(0)	4(0)	0
県立河北	10	6(0)	1(0)	3
秋田労災	231	92(51)	117(8)	22
市立横手	99	34(0)	60(0)	5
羽後町立羽後	89	3(0)	67(0)	19
秋田赤十字	88	33(32)	34(6)	21
大館市立総合	83	30(0)	52(0)	1
秋田大(整)	65	12(1)	31(0)	22
秋田大(脳)	48	11(11)	12(12)	25
東北労災	260	36(1)	162(1)	62
仙台整形外科	219	89(27)	87(47)	43
松田	204	65(0)	110(0)	29
総合南東北(脳)	173	43(43)	78(71)	52
仙台社会保険	120	34	56	30
国・仙台(脳)	95	10(10)	22(11)	63
総合南東北(整)	168	50(3)	62(0)	56
総合南東北(脳)	163	22(22)	53(27)	88
しのぶ	153	84(46)	64(38)	5
大原総合	114	28(25)	75(55)	11
県立医大	100	13(8)	55(7)	32
さとう日出夫整形外科	61	27(25)	33(30)	1

「国・」は国立病院機構。表の件数は、主に整形外科のみ、または同科と脳神経外科との合計件数だが、脳神経外科から個別の回答があった場合は、(脳)(整)と付して区別した。



東北中央病院
田中靖久病院長

神経の圧迫原因除去

「椎管狭窄症」が増加している」と説明する。

腰部の椎管が狭くなり、中を通る神経が圧迫されることで様々な症状が出る病気で、40歳以上から多く発症する。はじめは、歩行時に足に力が入らず休憩を繰り返す「間欠性跛行」が現れ、徐々に足底のしびれが強くなり、会陰部のしびれや排尿障害などにも発展する。両足に症状が出た場合や排尿障害など足以外の場所に症状が出た場合は手術を勧めており、同病院

では腰骨の一部を切り取る「開窓術」を行うことが多い。症状を詳しく聞けば、腰骨のどの部分を切除すべきか判断できることが多いといい、田中病院長は「問診で出来るだけ詳しい症状を話してほしい」と説明する。手術によりしびれが多少残る場合もあるが、それ以外の症状は治る可

能性が高いという。また田中病院長は、「しびれが出たら早い段階に診察を受けてほしい」と呼びかける。

読売新聞は9月、整形外科医で作る日本脊髄神経学会と、脳神経外科医で作る日本脊髄外科学会がそれぞれ認定する専門医のいる計944施設に、2009年の治療実績をアンケートし、484施設(51%)から回答を得た。

一覽表では、腰と首の代表的な病気である腰椎椎間板ヘルニアと腰部脊管狭窄症、頸髄症の手術数を施設ごとに載せた。

また、腰椎椎間板ヘルニアと腰部脊管狭窄症の低侵襲手術数も示した。内視鏡や顕微鏡を使った低侵襲手術は、皮膚を切り開く傷口が通常の半分程度の2、3センチで済み、手術後の痛みも軽い長所がある。

※全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。次回は1月9日「病理医」の予定です。